



新座三中だより

学校教育目標

自ら学ぶ 心豊かに たくましく

新座市立第三中学校

令和5年3月1日

新座市池田1-1-1

TEL 048-479-4052

FAX 048-482-0133



光は陰を消す

校長 和久井 功雄

校庭の桜や木々の芽がふくらみ、土の中の草花が芽を出し、咲き誇る準備をしています。4月に胸を張って入学、進級した生徒たちも、この一年間、それぞれの場所でたくさんの経験をしながら成長し、今は、次の場所でもう一回り大きな自分なりの花を咲かせるための準備をしています。

最近、生徒たちの様子を見ながら、4月当初の姿を思い浮かべます。「♪ピカピカの1年生」中学生になり0(ゼロ)からのスタートを切った1年生、大人数で取り組む不安や戸惑いを感じながら、集団で行動することなどを学びました。「♪うきうきの2年生」中学校生活一年間の見通しが立ち、中堅学年として1年生をリードし、3年生を支えながら活躍した2年生、思いやりやリーダーシップを学ぶことができました。「♪わくわくの3年生」一つ一つの取り組みが中学校生活最後の思い出になることを意識し、学校生活全般において手本を示してきた3年生、リーダーとしての責任の重さや決断の難しさなどを学びました。

そんな生徒たち一人一人は、この1年間でどのくらい「わかったこと。できたこと」が増えたのでしょうか。おそらく数え切れないほどあると思います。また、反対にどれだけの失敗をしてきたのでしょうか。これも数え切れないほどあり「わかったこと。できたこと」の何倍もあるでしょう。

何度も繰り返しながら、わかるようになりできるようになったのだと思います。そしてその過程には、そこに付随する様々なことも学ぶことができました。できないことを諦めずに取り組み、できるようになったことで、「できない」という言い訳をしないことを学びました。また、他人のせいにしてはならないことも学びました。そして、できない理由を考えるよりも、自分にできることは何か、どんな小さなことでもできることを探そうとする力、小さなことに気づく力も付いたと思います。さらに、自分一人のできることの限界を知り、一人ではできな



いことに気づき、お陰様という「感謝の心」を学びました。改めて、この1年間で大きな成長を遂げたことと、子どもの成長の早さに驚いています。

この一年間、一人一人の生徒にどのくらい光をあてることができたのか考えます。以前の小学校で書写指導に来ていただいた講師の先生から、(歌舞伎座の大道具の文字や出演者の名前の札に文字を書かれている方)「学校の先生はいい仕事だね。子どもたちにとって先生の言うことは特別だからね。…**褒められたら一生の励みになる。褒めることで欠点が消える。**」と言われました。強く心に刻まれた言葉でした。先生ご自身も学校の先生に「字が上手だ」と褒めてもらったお陰で、文字を書くことを仕事にされたそうです。

誰もが学校の先生が褒めてくれたことを1つは覚えていて、それが今でも心の支えになっている人も少なくないと思います。そう思うと教師という仕事のやりがいと責任に気が引き締まります。私たち大人がすべきことは、子どもの小さな変化を見逃さないようにして、その子にとっての良いところを見つけ、褒め、伸ばすことだと思います。

「褒め言葉のシャワーは、欠点を消し改善する。」学生時代にしかかけられないシャワーだからこそ、たくさん浴びせてあげたいと思います。そのためにも保護者、地域の皆様との協力・連携が大切なのだと感じています。

人は幸せだから感謝するのではなく、感謝するから幸せになる。(鍵山秀三郎)と言います。言い訳を考えるよりも、いま自分にできることをひとつでも多く考えることで、小さなことにも感謝できる感受性が芽生えるようになると思います。「感謝の心」を持つ人は、人に優しくなれるとも思います。「親・家族への感謝」「地域の方々への感謝」「先生への感謝」「友だちへの感謝」など、お世話になった方への「感謝の心」を大切にしながら、年度末のまとめをして参ります。

～ 経験や体験から学ぶ、価値ある失敗を大切に<リトライ> ～